

凍結抑制舗装11技術の比較・検証調査に着手。 ～北陸の地域特性への適用条件等を検証開始～

多種多様な新技術が存在する凍結抑制舗装について、北陸の地域特性への適用条件等を検証することを目的に、新技術活用システムの一つである「フィールド提供型」にて公募し、選定した11技術について、試行工事を行っているところです。

今冬より様々な気象条件における適応性等を比較・検証を行うにあたり、専門家等よりご意見を頂くため、「凍結抑制舗装技術に関する調査検討委員会」を行います。(委員名簿は別紙1のとおり)

今回、第1回委員会を下記の通り開催しますので、お知らせします。

◆第1回委員会 開催概要

①現地視察

日時：11月5日(水) 13:40～14:40

場所：一般国道17号 新潟県長岡市川口地先

※現地での取材に際しては、13:40まで、所定の駐車場所に集合下さい。
(別紙2参照)

②会議

日時：11月5日(水) 15:30～17:00

場所：まちなかキャンパス長岡 501会議室

新潟県長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト4F

※取材は冒頭の挨拶までといたします。その後は退室をお願いいたします。

◆その他

- ・会議の概要については、翌日(6日(木))以降に北陸技術事務所ホームページでの公開を予定しています。 <http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/>
- ・試行工事の概要は別紙3のとおり

同時発表記者クラブ

新潟・富山・石川県内
その他・専門紙

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 北陸雪害対策技術センター

(担当：北陸技術事務所)

雪害対策官 遠藤 正樹

電話025-231-1281 (代表)

FAX025-231-1283

別紙 1

凍結抑制舗装技術に関する調査検討委員会 委員名簿

委員 (一般社団法人) 日本道路建設業協会 北陸支部 牛久保 武彦
技術委員会 委員長

長岡技術科学大学 工学部 環境・建設系 高橋 修
計画・環境工学講座 教授

(独立行政法人) 土木研究所 道路技術研究グループ 寺田 剛
舗装チーム 主任研究員

(公益社団法人) 日本道路協会 原 富男
元舗装委員会委員

北陸地方整備局

委員 道路部 道路情報管理官 小山 浩徳

北陸技術事務所長 今野 和則

長岡国道事務所長 飛田 潤一

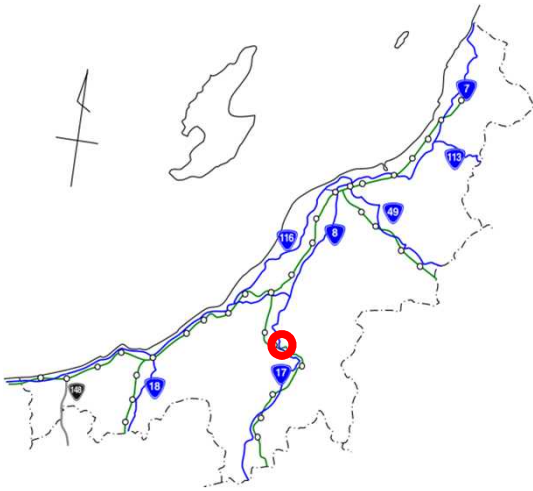
(敬称略、五十音順)

現地視察集合場所

下図の集合場所まで、13:40までに集合下さい。
(住所:長岡市川口牛ヶ島)



位置図



【施工場所】
一般国道17号(下り)
新潟県長岡市川口地先

凍結抑制舗装 選定11技術 一覧

区間番号	技術名称	応募者	NETIS番号
①	ゴムバウダ型凍結抑制舗装 (塵ゴムのゴムバウダを利用した凍結抑制舗装)	(株)佐藤渡辺	HR-140009-A
②	ザベック工法タイプG (ゴムチップ充填型 物理・化学系凍結抑制舗装)	世紀東急工業(株)北陸支店	KT-990566-V
③	グルーピングウレタン工法 (積雪地域のアイスバーン(氷雪路面)抑制工法)	鹿島道路(株)北陸支店	TH-990010-A
④	アイストール (既設舗装対応型凍結抑制工法)	オサダ技研(株)	HR-140010-A
⑤	アイスクラッシュペイブ (弾性体混入型物理系凍結抑制舗装)	大成ロテック(株) 技術研究所	KT-140058-A
⑥	アメニウレタン舗装 (多機能型砕石マスタック物理系(ウレタン樹脂充填)凍結抑制舗装)	日本道路(株)北信越支店	TH-990054-V
⑦	アイスインパクト (弾性モルタル型凍結抑制舗装)	福田道路(株)	HR-140001-A
⑧	ゴムロールド (弾性体圧入型物理系凍結抑制舗装)	(株)NIPPO北信越支店	KT-980121-V
⑨	ルビット舗装 (ゴム粒子入り凍結抑制舗装)	大林道路(株)北信越支店	KT-990006-V
⑩	アイストップバー (粗面型ゴム粒子入り凍結抑制舗装)	大林道路(株)北信越支店	KT-140064-A
⑪	フル・ファンクション・ペープ (縦溝粗面型ハイブリッド舗装)	(株)ガイアート・K	KT-130010-A

※ 各技術の詳細については、下記URLを参照下さい。
<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/03/05.html>

現地施工概要

